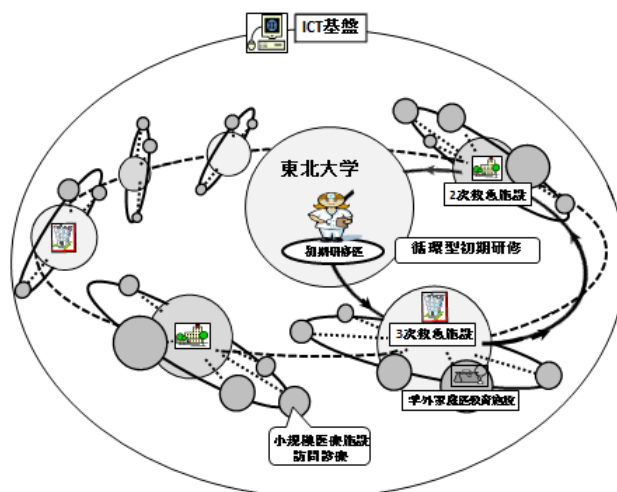


地域医療重点コース

概要

宮城県全域をカバーしている東北大学の特性を生かし、仙台市を除く県内を6つの診療圏(気仙沼、登米、栗原、大崎、石巻、仙南)に分割します。その各々について3次救急施設(基幹拠点病院)3か所(大崎市民病院、石巻赤十字病院、県南中核病院)、2次救急施設(拠点病院)4か所(気仙沼市立病院、登米市民病院、栗原中央病院、公立刈田総合病院)に拠点病院をお願いします。本プログラムを選択した初期研修医は、大学病院研修8か月を除く16か月間のうち、基幹拠点病院にて10か月、拠点病院にて6か月のたすき掛け研修を行います。地域医療研修については各拠点病院が管轄する診療圏内の関連中小医療施設において、拠点病院研修中に当該地域拠点病院の調整下に地域医療研修を行っていただきたいと考えています。



本コースのねらい

- ① 東北大学と東北大学関連地域教育拠点ネットワークを生かしたプログラムである。
- ② 中核病院から地域の診療所まで、多様な機能を持つ医療機関と医療人で構成される各カテゴリーすべてで研修を行うことにより、自分の適性に合ったカテゴリーや志望を見極めることができ、かつこのネットワークは東北地区全域を網羅しているため、勤務地・キャリア形成など医師の志望に幅広く応え得る研修や勤務ができる。
- ③ さらにこのネットワークは ICT 基盤を有しているため、将来の地域医療に必須である ICT 活用教育が行える。
- ④ 各階層の医療施設をまんべんなく研修することにより地域医療連携の重要性を肌で感じ、深く理解できる。
- ⑤ 東北大学関連地域教育拠点である地域拠点病院において多彩で豊富な症例の経験を積むことができるため、日常診療のあらゆる状況に適切に対応できるための普遍的な能力を身につけることができる。
- ⑥ 先輩医師の地域医療現場での実力・活躍・社会的ポジションを実感し尊敬することで、同様の地域医療でのキャリア形成へのモチベーションが上がり、地域医療に定着することが期待できる。
- ⑦ 初期研修時からさまざまな専門医取得に必要な症例を適当な施設で経験することができる。

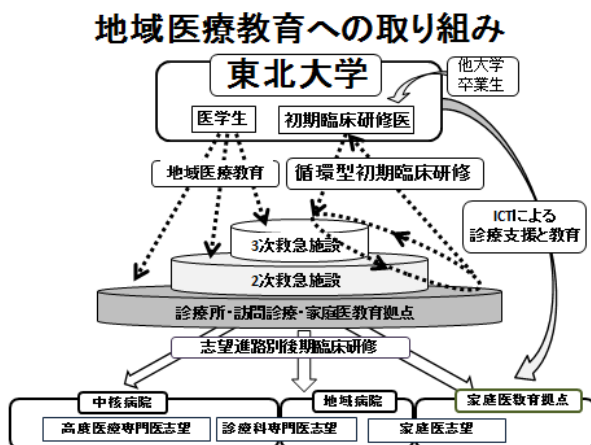
本コースの実際

募集人員：26年度は原則6名、最大10名まで（27年度以降は調整して人数を決定）

- **東北大学病院研修**：8か月。1年目4-6月と研修終了直前の2年目2-3月における大学病院研修は固定とする。このうち救急部研修3か月必修とする。選択必修科として精神科を希望する場合は大学病院研修期間の中で行うことが必要。
- **東北大学高度救命救急センター研修**：大学病院研修期間8か月の中で1年目7月以降の期間の中から3か月を選択して拠点病院研修期間の前後で研修する（基幹拠点病院研修10か月、拠点病院研修3か月を分割して救急部研修を行うことは不可）。
- **基幹拠点病院研修**：大崎市民病院、石巻赤十字病院、県南中核病院の中から選択して10か月研修する。1年目7月以降より開始可で、原則1施設研修とする。分割しての研修は不可。1施設あたり定員2名で、研修医の希望により配属先を決定するが、希望が重なって定員を超えた場合は、抽選等で調整する。
- **拠点病院研修**：気仙沼市立病院、登米市民病院、栗原中央病院、公立刈田総合病院の中から原則基幹拠点病院研修終了後に2か所選択して6か月（3か月×2施設）研修する。1施設のみ6か月研修も可。1施設あたり定員2名で、研修医の希望により配属先を決定するが、希望が重なって定員を超えた場合は、抽選等で調整する。
- **地域医療研修**：各拠点病院が管轄する診療圏内の関連中小医療施設において、拠点病院研修中に当該拠点病院の調整下に行う。

東北大学の地域医療教育への取り組みと本研修コースの目的

地域医療は中核病院から地域の診療所まで、多様な機能を持つ医療機関と医療人で構成されます。従って東日本大震災を経て、地域医療の再構築が求められる東北地区においては、医療体制の整備とともにこれらを構成する、その地域の医療の現状・連携体制を熟知した医師を多層的に育成する必要があります。一方でその地域の特性に深く関係しながら、これに合った形で形成されていく地



域医療の在り方を探求し、未来に向けて提言できる人材を養成することも大変重要です。こうした課題にこたえるために東北大学では、卒前教育から地域医療実習を積極的に行い、卒後教育としての初期臨床研修は、東北大学および宮城県全域をカバーする東北大学関連地域教育拠点ネットワークに基づいた地域医療の全カテゴリー（救命センターを保有する基幹型拠点病院、それ以外の拠点病院、慢性期病院の療養型医療、家庭医の担う診療所、訪問診療など）の実習・研修をシステムティックに行う「地域医療重点コース」を立ち上げ、課題解決能力を有する地域医療人を多層的に育成していきたいと考えています。この研修プログラムの目的は、研修医が地域医療に必要なすべてのカテゴリーにおける最前線での研修が可能になり、多様な患者の診療経験が蓄積され、かつ自らの適性・志望に合ったカテゴリーを見極めることを可能にすることです。

宮城県医学生修学資金利用者に対するメリット

たすき掛け 16 か月については東北大学勤務とみなさず、指定医療機関勤務とみなして義務年限を消化できる。すなわちさらに 16 か月の大学病院勤務を義務年限として認められます。

(例) 1

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年 目	東北大学病院研修			東北大学高度 救命救急センター研修			基幹拠点病院研修 大崎市民病院、石巻赤十字病院、県南中核病院から 1 施設					
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2 年 目	基幹拠点病院研修			拠点病院研修 1 拠点病院 4 施設から 1 施設			拠点病院研修 2 拠点病院 1 以外から 1 施設			東北大学病院 研修		

↑ 同一施設で 6 か月の拠点病院研修も可能

(例) 2

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年 目	東北大学高度 救命救急センター研修			東北大学病院研修			基幹拠点病院研修 大崎市民病院、石巻赤十字病院、県南中核病院から 1 施設					
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2 年 目	基幹拠点病院研修			拠点病院研修 1 拠点病院 4 施設から 1 施設			拠点病院研修 2 拠点病院 1 以外から 1 施設			東北大学病院 研修		

* 希望者が多い場合は、救命センター研修を基幹拠点病院研修の前に行うこともあり得ます。